

多文化共生についてのアンケート結果

県には、2万9千263人の外国人が住んでいます。（平成30年12月末現在：住民基本台帳人口）これは、県民約48人に一人が外国人住民ということになります。

県では滋賀県多文化共生推進プランの改定を行うため、県民の外国人住民との共生についての意識や外国人との関わり現状について把握することを目的としてアンケートを実施しました。

★調査時期：令和元年6月

★対象者：県政モニター399人

★回答数：348人（回収率87.2%）

★担当課：総合企画部国際課

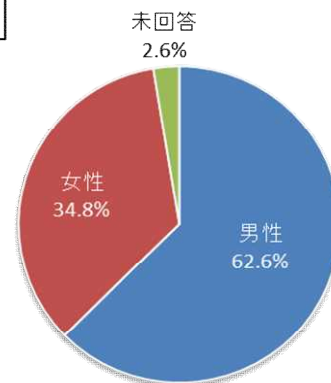
（※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。）

【属性】

◆性別

項目	人数（人）	割合（%）
男性	218	62.6
女性	121	34.8
未回答	9	2.6
合計	348	100.0

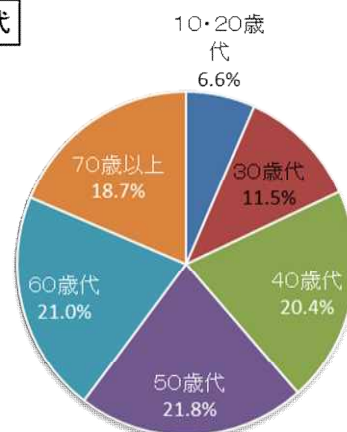
性別



◆年代

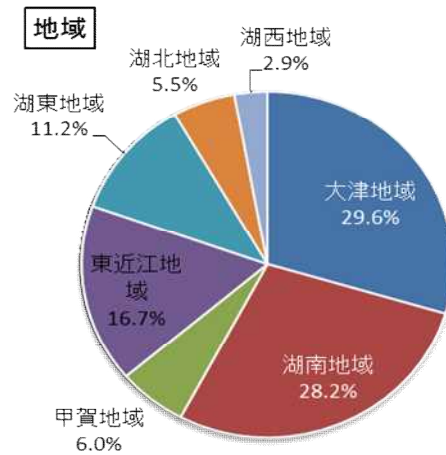
項目	人数（人）	割合（%）
10・20歳代	23	6.6
30歳代	40	11.5
40歳代	71	20.4
50歳代	76	21.8
60歳代	73	21.0
70歳以上	65	18.7
合計	348	100.0

年代



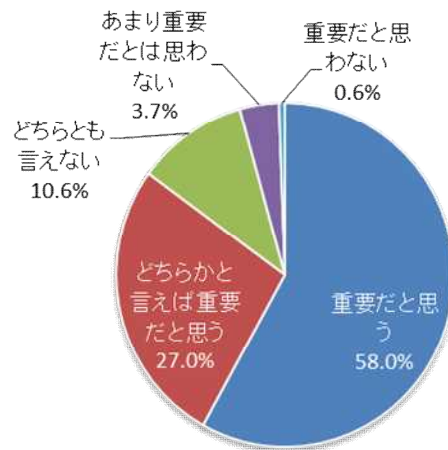
◆地域

項目	人数（人）	割合（%）
大津地域	103	29.6
湖南地域	98	28.2
甲賀地域	21	6.0
東近江地域	58	16.7
湖東地域	39	11.2
湖北地域	19	5.5
湖西地域	10	2.9
合計	348	100.0



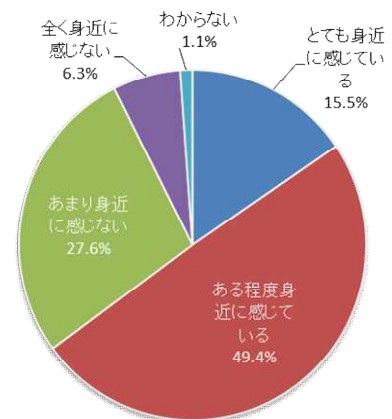
問1 あなたは、国籍や民族などの異なる人々が互いに認め合い、共に暮らす社会の実現についてどう思いますか。（回答チェックは1つだけ。 n=348）

項目	人数（人）	割合（%）
重要だと思う	202	58.0
どちらかと言えば重要だと思う	94	27.0
どちらとも言えない	37	10.6
あまり重要だとは思わない	13	3.7
重要だと思わない	2	0.6
合計	348	100.0



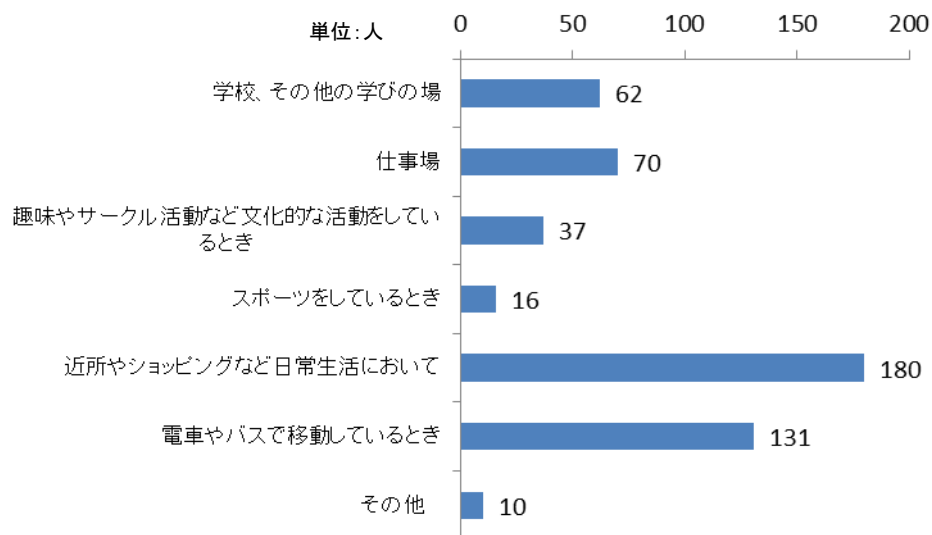
問2 あなたは、普段生活をしていて、外国人住民の存在を身近に感じますか。次の中から1つだけ選んでください。（回答チェックは1つだけ。 n=348）

項目	人数（人）	割合（%）
とても身近に感じている	54	15.5
ある程度身近に感じている	172	49.4
あまり身近に感じない	96	27.6
全く身近に感じない	22	6.3
わからない	4	1.1
合計	348	100.0



問3 【問2】で「1. とても身近に感じている」または「2. ある程度身近に感じている」を選択された方にお尋ねします。どのような場面で外国人住民の存在を身近に感じますか。(回答チェックはいくつでも。n=226)

項目	人数(人)	割合(%)
学校、その他の学びの場	62	27.4
仕事場	70	31.0
趣味やサークル活動など文化的な活動をしているとき	37	16.4
スポーツをしているとき	16	7.1
近所やショッピングなど日常生活において	180	79.6
電車やバスで移動しているとき	131	58.0
その他	10	4.4



問4 あなたは過去3ヶ月間に、外国人住民と会話(単なる“こんにちは”以上)をしたことはありますか。(回答チェックは1つだけ。 n=348)

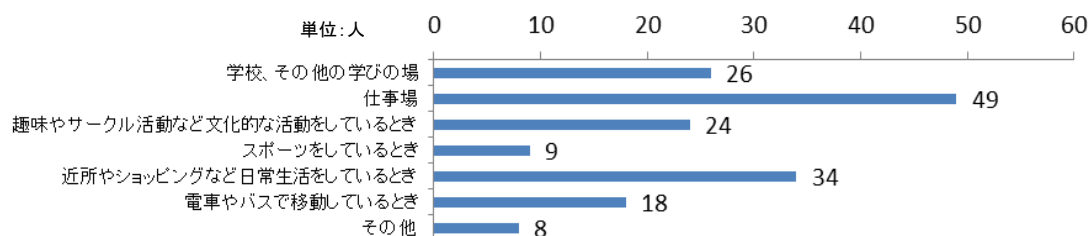
項目	人数(人)	割合(%)
はい	119	34.2
いいえ	229	65.8
合計	348	100.0



問5 【問4】で「1. はい」と選択された方にお尋ねします。

その会話は、どこでしましたか。回答チェックはいくつでも。 n=119)

項目	人数(人)	割合(%)
学校、その他の学びの場	26	21.8
仕事場	49	41.2
趣味やサークル活動など文化的な活動をしているとき	24	20.2
スポーツをしているとき	9	7.6
近所やショッピングなど日常生活をしているとき	34	28.6
電車やバスで移動しているとき	18	15.1
その他	8	6.7

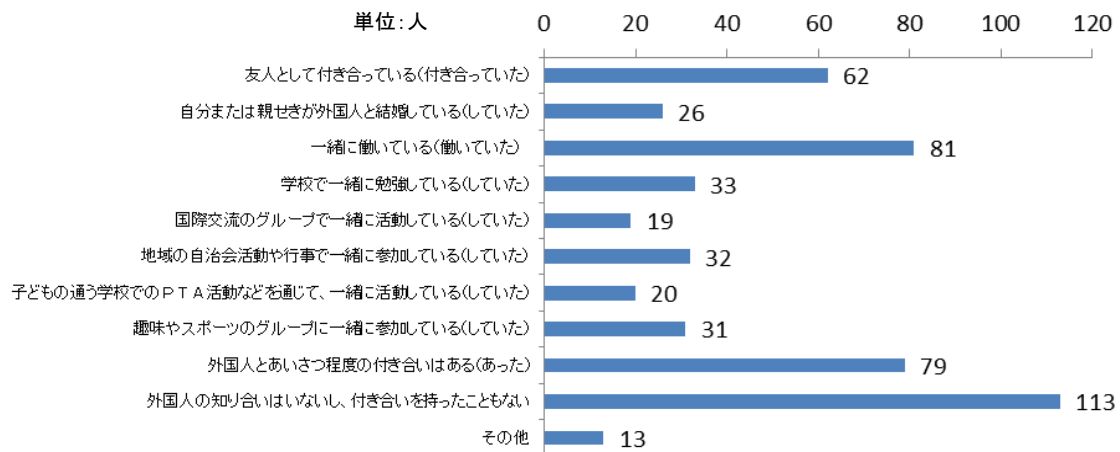


問6 あなたは外国人住民とどのような付き合いがありますか。(過去の経験を含む)

(「10. 外国人の知り合いはいないし、付き合いを持ったこともない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも)(回答チェックはいくつでも。n=348)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 友人として付き合い合っている(付き合い合っていた)	62	17.8
2. 自分または親せきが外国人と結婚している(していた)	26	7.5
3. 一緒に働いている(働いていた)	81	23.3
4. 学校で一緒に勉強している(していた)	33	9.5
5. 国際交流のグループで一緒に活動している(していた)	19	5.5
6. 地域の自治会活動や行事と一緒に参加している(していた)	32	9.2
7. 子どもの通う学校でのPTA活動などを通じて、一緒に活動している	20	5.7

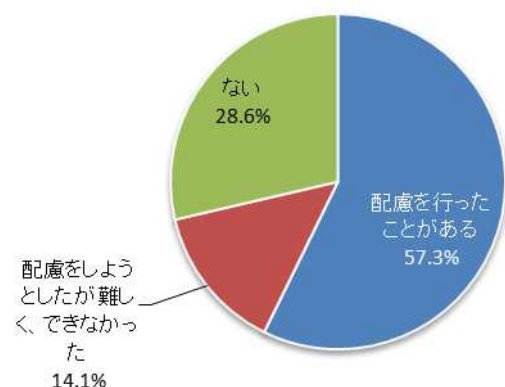
(していた)		
8. 趣味やスポーツのグループと一緒に参加している(していた)	31	8.9
9. 外国人とあいさつ程度の付き合いはある(あった)	79	22.7
10. 外国人の知り合いはいないし、付き合いを持ったこともない	113	32.5
11. その他	13	3.7



問7 問6で選択肢1～9のいずれかを選択された方にお尋ねします。

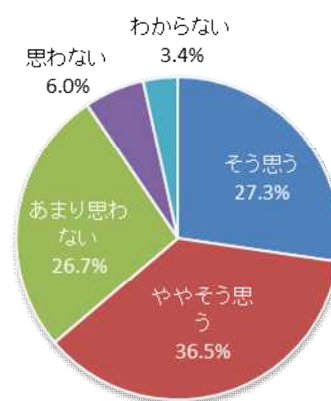
最近、行政や民間企業などで「やさしい日本語」を取り入れる動きがありますが、これまであなたが関わった外国人住民との付き合いのなかで、「やさしい日本語」のような、言葉の配慮を行ったことがありますか。(回答チェックは1つだけ。 n=227)

項目	人数(人)	割合(%)
配慮を行ったことがある	130	57.3
配慮をしようとしたが難しく、できなかった	32	14.1
ない	65	28.6
合計	227	100.0



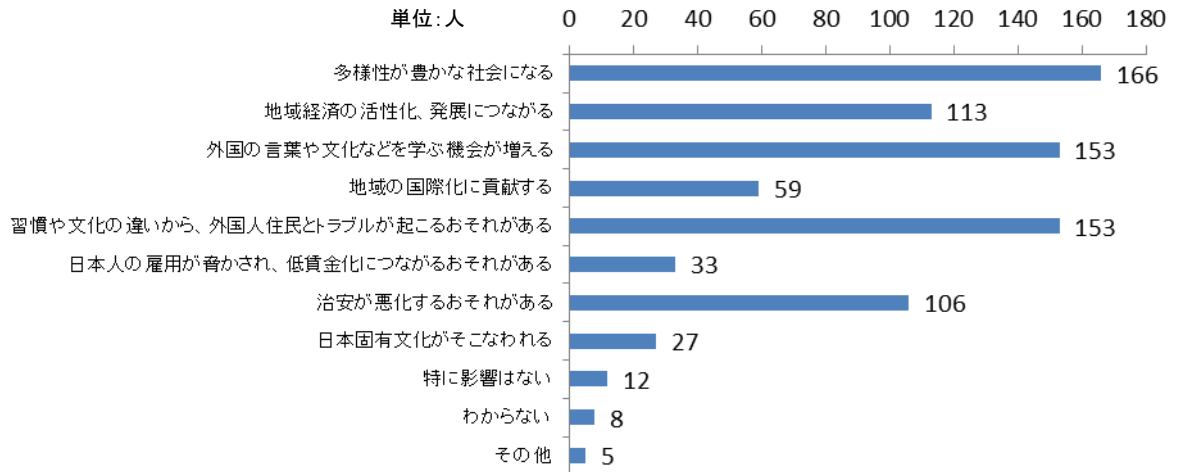
問8 あなたは、外国人住民と地域社会や仕事場、学校、イベントなどで、交流や関わりを持ちたいと思いますか。(回答チェックは1つだけ。 n=348)

項目	人数(人)	割合(%)
そう思う	95	27.3
ややそう思う	127	36.5
あまり思わない	93	26.7
思わない	21	6.0
わからない	12	3.4
合計	348	100.0



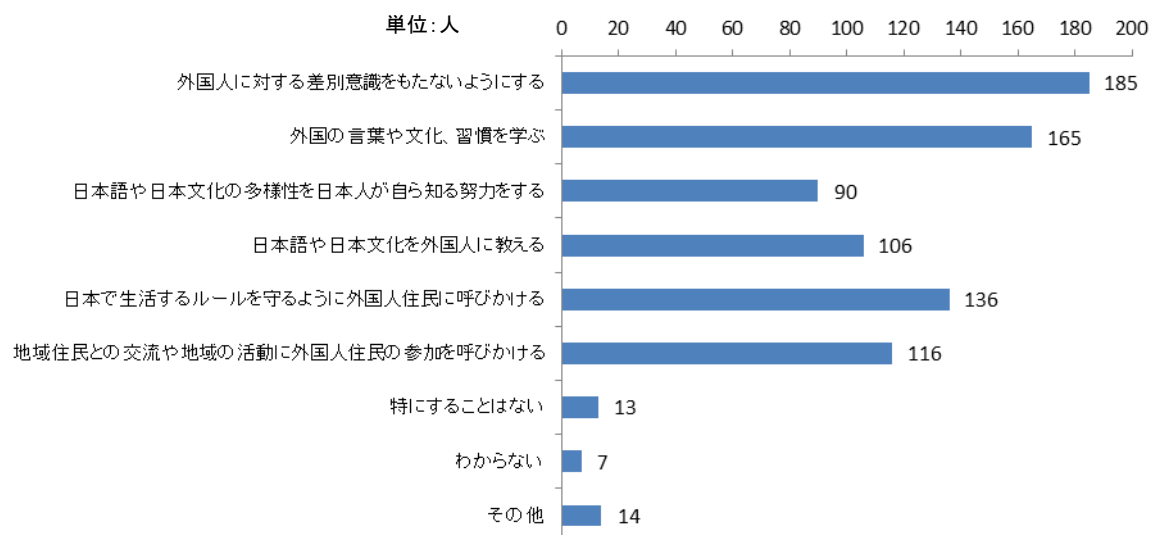
問9 あなたは、地域社会に外国人住民が増えることについてどう思いますか。(回答チェックは3つまで。n=348)

項目	人数(人)	割合(%)
多様性が豊かな社会になる	166	47.7
地域経済の活性化、発展につながる	113	32.5
外国の言葉や文化などを学ぶ機会が増える	153	44.0
地域の国際化に貢献する	59	17.0
習慣や文化の違いから、外国人住民とトラブルが起こるおそれがある	153	44.0
日本人の雇用が脅かされ、低賃金化につながるおそれがある	33	9.5
治安が悪化するおそれがある	106	30.5
日本固有文化がそこなわれる	27	7.8
特に影響はない	12	3.4
わからない	8	2.3
その他	5	1.4



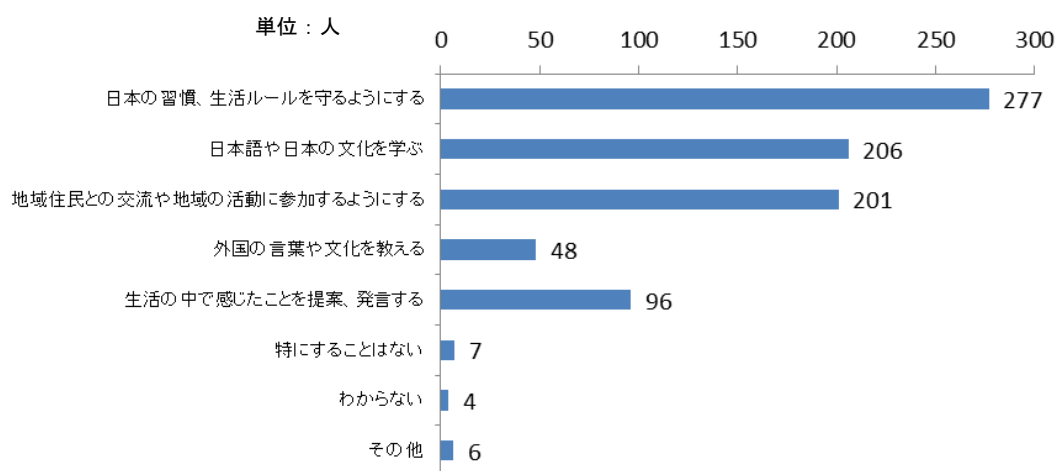
問 10 日本人住民と外国人住民が共に安心して暮らせ、活躍できる地域社会にしてい
くために、日本人住民は何をすべきと思いますか。(回答チェックは3つまで。n=348)

項目	人数(人)	割合(%)
外国人に対する差別意識をもたない ようにする	185	53.2
外国の言葉や文化、習慣を学ぶ	165	47.4
日本語や日本文化の多様性を日本人 が自ら知る努力をする	90	25.9
日本語や日本文化を外国人に教える	106	30.5
日本で生活するルールを守るように 外国人住民に呼びかける	136	39.1
地域住民との交流や地域の活動に外 国人住民の参加を呼びかける	116	33.3
特にすることはない	13	3.7
わからない	7	2.0
その他	14	4.0



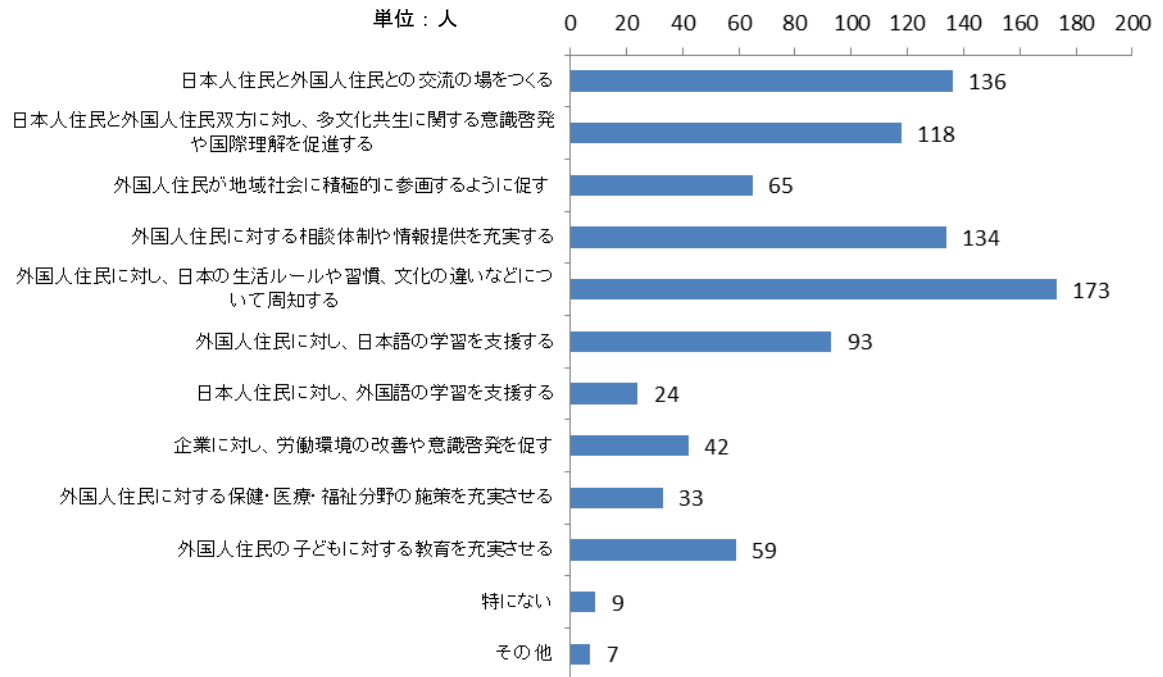
問 11 日本人住民と外国人住民が共に安心して暮らせ、活躍できる地域社会にしてい
くために、外国人住民は何をすべきと思いますか。(回答チェックは3つまで。n=348)

項 目	人数 (人)	割合 (%)
日本の習慣、生活ルールを守るように する	277	79.6
日本語や日本の文化を学ぶ	206	59.2
地域住民との交流や地域の活動に参 加するようにする	201	57.8
外国の言葉や文化を教える	48	13.8
生活の中で感じたことを提案、発言す る	96	27.6
特にすることはない	7	2.0
わからない	4	1.1
その他	6	1.7



問 12 日本人住民と外国人住民が共に安心して暮らせ、活躍できる社会にしていくために、県や市町などの行政は、どのような取組に力を入れるべきと思いますか。（回答チェックは3つまで。n=348）

項目	人数 (人)	割合 (%)
日本人住民と外国人住民との交流の場をつくる	136	39.1
日本人住民と外国人住民双方に対し、多文化共生に関する意識啓発や国際理解を促進する	118	33.9
外国人住民が地域社会に積極的に参画するように促す	65	18.7
外国人住民に対する相談体制や情報提供を充実する	134	38.5
外国人住民に対し、日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどについて周知する	173	49.7
外国人住民に対し、日本語の学習を支援する	93	26.7
日本人住民に対し、外国語の学習を支援する	24	6.9
企業に対し、労働環境の改善や意識啓発を促す	42	12.1
外国人住民に対する保健・医療・福祉分野の施策を充実させる	33	9.5
外国人住民の子どもに対する教育を充実させる	59	17.0
特にない	9	2.6
その他	7	2.0



問 13 その他、日本人住民と外国人住民が共に安心して暮らせ、活躍できる地域社会について、御意見等がありましたらお聞かせください。(抜粋)

- ・日本人住民と外国人住民の相互理解が何より重要になると考える。
- ・外国人の方が相談やサービスを受けられるような市町村の窓口の充実。
- ・差別はよくないが、外国人の人口が増えるのは好ましくないと思っている。
- ・お互いがお互いの文化、風習を学びあい、積極的に交流することが大事だと思う。そのために県のほうで交流の場や勉強会をとり仕切っていただきたい。
- ・相互、自らの文化や生活などの理解を深め、相違や共通点に気づいたり、新たな文化や生活を創造したりしていくべき。
- ・外国人の子供たちに、適正な教育の場を、機会均等に与えるべき。
- ・日本の考えを押し付けるのではなく、そう言ったことを理解し、その代わり日本や日本人のことも知ってもらい、地域のルールなど守ってもらうべきことはきちんと説明して解ってもらえばいいと思う。地域の人同士がコミュニケーションを取り、日頃からお互いに話しやすくしておくべきだと思う。
- ・住んでいる外国人に「滋賀はいいところだね」と言ってもらえるように県だけでなく県民も協力したい。
- ・気軽に交流できるような場があれば必ず参加したい。私の周りでは下手をしたら日本人住民の交流もないかもしれない。日本人なら誰とでも調和して平和に仲良く暮らしていけると思う。
- ・一番心配なのが治安の悪化。外国の方に、日本のルールを守って暮らしていただきたい。
- ・言葉の壁が大きいので日本語を学べる機会を行政が行って欲しい。
- ・外国人は日本の習慣を理解し実践すると共に、日本人は外国人の文化・習慣の違いを認識したうえで対応すべき。
- ・やさしい日本語について、もっと多くの人に知ってもらうべき。
- ・日本に居住する外国人が増加するなかで、お互いの文化を分かり合っていないと問題、トラブルが多く発生してしまう原因になると思う。県主体で、外国人には日本文化を教え、日本人には外国文化を教える、相互交流させるなどの場を設けてほしい。
- ・外国人は日本語や言葉の壁から仕事やコミュニケーションに苦労されていると感じている。実生活に連動した形での勉強プログラムが充実すればいいと感じる。
- ・滋賀県には48人に1人の割合で外国の人が住んでいるという事を知って、人数の多さにとても驚いた。ぜひ、頭のやわらかい子供たちに人類の多様性を感じるような教育機会をもってほしい。
- ・日本人住民には多文化の理解、違いを受け入れることを促しながら、外国人住民には個人の文化を尊重しながらも日本の文化理解とルールを守ることを教えて行く、また外国人住民のこども達の教育やサポートがその架け橋となるので強化していく必要がある。

- ・日本人住民が外国語や外国の文化を理解したり、外国人住民が日本語や日本文化を学んだりすることも重要だが、それ以前に、互いに差別意識を持たず相手のことを受容しようという気持ちを持つことが必要であると地域社会で外国の方たちと交流した中で感じた。